

瀬戸市美術館特別展

## 九谷赤絵の極致

宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界

九谷赤絵は、江戸時代前期の古九谷を経て、江戸後期に現在の石川県南部地域で興った再興九谷諸窯で発展しました。再興九谷諸窯では、九谷五彩（赤・黄・緑・紺青・紫）のうち、赤以外の絵具で器面全体を塗り込める「青手」と、赤も使った「色絵」に二分化します。色絵は、次第に赤を主体とした意匠が登場し、赤絵は九谷焼を代表する作風の一つになりました。

再興九谷窯のはじまりとなった金沢の春日山窯（1807～20頃）以降、石川県の能美地方や小松地方でも深化した九谷赤絵

は、現在の石川県加賀市に創業した宮本屋窯（1832～59）において大成します。宮本屋窯の赤絵は、黒みがかった赤（通称・血赤）で文様を細かく描き込んだ赤絵細描と、金彩とともに赤以外の上絵を用いたことを特徴としています。また、画題の一部に、中国・明時代の墨の文様集『方氏墨譜』から着想を得たことで独自性を発揮しました。宮本屋窯の主画工・飯田屋八郎右衛門（1801～48）は細密描写に優れた手腕を発揮し、宮本屋窯は別名「飯田屋窯」とも呼ばれています。

瀬戸市美術館で九谷焼をメインとして取り上げるのは、本展が初めてであり、宮本屋窯の作品が一堂に会するまたとない機会です。細密描写を実現した高い技術力や独自の意匠性による豊かな表現世界をお楽しみください。

### 関連事業のご案内

#### ■九谷赤絵 絵付実演

【講師】聖窯 山本芳岳氏

【日時】2024年12月7日(土) 午前10時～10時30分 午前11時～11時30分

【場所】瀬戸市美術館ロビー

※事前申し込み不要、参加無料（要入館料）

#### ■九谷赤絵 絵付体験ワークショップ

【講師】聖窯 山本芳岳氏

【日時】2024年12月7日(土) 午後2時～4時

【場所】瀬戸市文化センター文化交流館 22 会議室

【定員】20名

【料金】1,000円

【申込先】TEL：0561-84-1093

11月1日(金) 午前10時より受付開始（先着順）

※作品は焼成後、後日お渡しいたします

#### ■ギャラリートーク

学芸員によるギャラリートークを行います

【日時】2024年12月15日(日) 午後1時30分～

2025年 1月11日(土) 午前10時～

【場所】瀬戸市美術館館内

※事前申し込み不要、参加無料（要入館料）

### 近隣施設のご案内

#### ■瀬戸蔵ミュージアム

TEL：0561-97-1190

企画展「新収蔵品展 2020-2022」

2024年9月7日(土)～2025年1月19日(日)

#### ■瀬戸市新世紀工芸館

TEL：0561-97-1001

交流棟企画展「冬のおくりもの展 同時開催：干支の置物展」

2024年11月16日(土)～2025年1月13日(月・祝)

#### ■瀬戸染付工芸館

TEL：0561-89-6001

企画展「瀬戸染付 草花の表現」

2024年12月7日(土)～2025年3月23日(日)

## 次回展覧会

2025.4.19.sat-6.15.sun

せとものフェスタ 2025

第5回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ

瀬戸市美術館特別展

—瀬戸の原土を活かして—

2025年2月24日(月・振)～4月18日(金)は瀬戸・藤四郎トリエンナーレ展準備のため休館します

## 瀬戸市美術館 Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町 113-3 TEL 0561-84-1093

アクセス

無料駐車場 約500台

電車：名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車 徒歩13分

自動車：名古屋瀬戸道路「長久手I.C.」から約30分

東海環状自動車道「せと赤津I.C.」から約10分



瀬戸市美術館・公益財団法人瀬戸市文化振興財団

HPはこちら

<https://www.seto-cul.jp/>



吉田屋窯から宮本屋窯《鶴図環珞文輪花形形向付》江戸時代後期（19世紀）、個人蔵



宮本屋窯《丸抜獅子人物図芋頭形急須》江戸時代後期（19世紀）、個人蔵



宮本屋窯《王子喬図馬上杯》江戸時代後期（19世紀）、個人蔵



宮本屋窯《伎煙閣図筆筒》弘化4年（1847）以前、個人蔵



竹内吟秋《雲龍図大瓶》明治41年（1908）、石川県九谷焼美術館蔵

